

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6635-6657
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	322	49.1	100	70.4	103	78.2	70	79.7
28年12月期第1四半期	216	—	58	—	57	—	39	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 133百万円(239.0%) 28年12月期第1四半期 39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	10.87	10.31
28年12月期第1四半期	6.11	5.74

(注) 当社は、平成27年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成28年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,460	1,101	75.3
28年12月期	1,334	966	72.5

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,100百万円 28年12月期 966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

平成29年12月期の通期連結業績見通しにつきましては、引き続き当社グループを取り巻く事業環境が大きく伸長することを鑑み、連結業績予想は引き続き非開示としておりますが、従来事業の積み上げ(現時点受注ベース)のみを考慮した場合でも、東証一部上場の形式要件の一つである利益の額をクリアし、増収増益による連続最高益を達成することを見込んでおります。今後、連結業績予想の開示が合理的に可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	6,530,000株	28年12月期	6,527,000株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	7,000株	28年12月期	7,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	6,522,667株	28年12月期1Q	6,455,000株

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、第4次産業革命ともいわれるIoTやビッグデータ、人工知能(AI)、ロボットなどの活用による技術革新に向けて引き続き市場拡大の一途を辿っております。このような環境のなかで当社グループは、世の中の全ての「モノ」や「コト」がインターネットとつながるIoT分野に加え、「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE (Internet of Everything) の世界を見据えた取り組みを進めております。

当社事業の柱である自動運用をベースとした各種物理サーバ・クラウドサーバ・ハイブリッドサーバを対象とするマネジメントサービスは、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めたことにより堅調に推移し、四半期として過去最高益を達成いたしました。また、子会社Mobicommとの取り組みによる継続的なIoTサービス課金に向けた軽量・低消費電力のキャリアグレードレベル通信モジュール開発を始めとする各種モジュール開発は順調に進捗しており、一部については検収が完了し、当第1四半期連結累計期間におけるMobicomm単体の業績としても昨年に引き続き黒字を確保しております。なお、当社グループの通期連結業績見通しは、従来事業の積み上げ（現時点受注ベース）のみを考慮した場合でも、増収増益による連続最高益を達成することを見込んでおります。

当社グループは従来のIoT分野に加え、「生物・細胞」をソフトウェアによってダイレクトに制御する再生医療分野におけるプロジェクトについても具体的に取り組んでおります。当社グループの有するコンピュータデータ通信の根源的な基礎技術である色信号制御技術を再生医療分野に応用し、世界の遺伝子治療による視覚再生分野における第一人者である国立大学法人岩手大学 富田浩史教授と共同で、「光を失った方（中途失明された方）に光を取り戻す（視覚再生）ための取り組み」を進めており、今年1月には同教授が当社フェローに着任し、これまで以上に高いレベルでの視覚再生研究を実現してまいります。当社グループが開発を進める視覚再生用プリズムグラスの実用化に向けたグラス装着による臨床研究は、早ければ2018年中にも開始する予定です。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高322,433千円（前年同期比49.1%増）、営業利益100,103千円（前年同期比70.4%増）、経常利益103,093千円（前年同期比78.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益70,887千円（前年同期比79.7%増）となりました。

なお、当社グループはマネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、927,331千円（前連結会計年度末比44,345千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比24,247千円減）した一方で、売掛金が増加（前連結会計年度末比59,030千円増）、仕掛品が増加（前連結会計年度末比14,828千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、533,154千円（前連結会計年度末比81,823千円増）となりました。これは主に、投資有価証券が増加（前連結会計年度末比88,650千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,460,485千円となり、前連結会計年度末に比べ126,169千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、193,470千円（前連結会計年度末比26,060千円減）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比20,807千円増）した一方で、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比26,578千円減）、流動負債のその他に含まれる未払金が減少（前連結会計年度末比8,897千円減）、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が減少（前連結会計年度末比6,754千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、165,691千円（前連結会計年度末比17,721千円増）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比7,497千円減）した一方で、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加（前連結会計年度末比27,473千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、359,162千円となり、前連結会計年度末に比べ8,339千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,101,323千円（前連結会計年度末比134,508千円増）となりました。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比70,887千円増）、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比61,687千円増）したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期連結業績見通しにつきましては、引き続き当社グループを取り巻く事業環境が大きく伸長することを鑑み、連結業績予想は引き続き非開示としておりますが、従来事業の積み上げ（現時点受注ベース）のみを考慮した場合でも、東証一部上場の形式要件の一つである利益の額をクリアし、増収増益による連続最高益を達成することを見込んでおります。今後、連結業績予想の開示が合理的に可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,268	594,020
売掛金	237,659	296,689
仕掛品	1,212	16,041
その他	25,950	20,666
貸倒引当金	△106	△87
流動資産合計	882,985	927,331
固定資産		
有形固定資産	97,883	95,951
無形固定資産		
のれん	56,655	53,114
その他	8,923	8,661
無形固定資産合計	65,579	61,775
投資その他の資産		
投資有価証券	200,411	289,061
その他	88,212	87,129
貸倒引当金	△756	△764
投資その他の資産合計	287,868	375,427
固定資産合計	451,331	533,154
資産合計	1,334,316	1,460,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,338	61,145
1年内返済予定の長期借入金	29,988	29,988
未払法人税等	54,523	27,944
その他	94,682	74,392
流動負債合計	219,531	193,470
固定負債		
長期借入金	80,032	72,535
資産除去債務	3,649	3,655
その他	64,288	89,501
固定負債合計	147,970	165,691
負債合計	367,501	359,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	323,107	323,482
資本剰余金	300,037	300,412
利益剰余金	307,719	378,607
自己株式	△85,654	△85,654
株主資本合計	845,210	916,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,601	183,288
その他の包括利益累計額合計	121,601	183,288
新株予約権	3	3
非支配株主持分	—	1,183
純資産合計	966,814	1,101,323
負債純資産合計	1,334,316	1,460,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	216,220	322,433
売上原価	75,275	99,560
売上総利益	140,944	222,873
販売費及び一般管理費	82,181	122,770
営業利益	58,762	100,103
営業外収益		
受取利息	68	27
為替差益	148	—
助成金収入	—	3,410
その他	164	20
営業外収益合計	381	3,457
営業外費用		
支払利息	393	66
支払手数料	702	—
為替差損	—	401
その他	209	—
営業外費用合計	1,305	467
経常利益	57,838	103,093
税金等調整前四半期純利益	57,838	103,093
法人税、住民税及び事業税	12,879	23,945
法人税等調整額	5,508	7,077
法人税等合計	18,387	31,022
四半期純利益	39,451	72,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,451	70,887

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	39,451	72,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	61,687
その他の包括利益合計	—	61,687
四半期包括利益	39,451	133,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,451	132,575
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、マネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。